

# Akatake Times

Vol. 46  
(通算 第199号)

新年、明けましておめでとうございます。  
古来中国では、「トラ」年は、「春が来て根や茎が成長する時期」と言われております。  
我が社も50周年を迎えましたが、驕らず、地に足をつけ、堅実かつ確実な歩みを進めて  
成長していきましょう。



今年一年が、社員とご家族の皆さんにとって良い年になるよう祈念いたします。  
私は73歳を迎えます。2017年11月に手術を要する病気を患ったのですが、それには『あとくされ』が全く無いのはありがたいことです。他に多少の指摘箇所がありますが、概ね元気であります。  
『年間240回のゴルフプレーを達成している』84歳の知人男性がいます。私にそれは真似できないとしても、元気を保つ気概と実践を忘れず、いろいろな面で成長を重ねたいと思っています。  
毎年ながら新春を迎えて決意することです。

#### ◆ 「社員と会社」

昨年一年の瀬に社員2名が手術を受ける事態が発生するも、無事成功し順調に回復途上にあることは、まずは一安心というところ。焦らず、ゆっくり元に戻せばいいでしょう。  
一方、第51期を三分の一経過した会社は、かすり傷を負うことがあってもこれといった大病もせず経過させているのはありがたいことです。折々の症状に合わせた加療はもとより、一年間経過した会社の健康診断で症状の早期発見と対策を今後も続け、健康維持を心がけて参ります。  
皆さんも、日々の中で個人の健康状態はもとより会社のそれにも気を付けていただければ幸いです。

#### ◆ 「新型コロナ」

世界ではワクチン接種が進んでいるにも拘わらず感染がまだまだ拡大している状況です。日本国内では、昨年11月中旬の新聞に『人流は増加しているのに新型コロナ(デルタ株)感染者が激減している原因が分からない』という記事がありました。分からないながらも、私は感染防止に注意を払いつつ国内移動をようやく活発化させようと思っていました。その矢先、11月下旬に南アフリカから新しい変異株(オミクロンと命名)が出現したとの情報が発信され、ほどなく世界各国に感染が広まってしまうました。日本国内では12月初旬入国者の感染が見つかり、下旬には大阪、京都、東京、福岡で市中感染が報告されました。一難去ってまた一難、オミクロン株が行く手を阻むものになることは間違いありません。全く困ったものです。感染力は強力だが毒性が弱く重症度は低いとの見方があるようですが、そうあって欲しいものです。

#### ◆ 「納期遅延・価格高」

- ① 新型コロナの感染拡大により、世界中でサプライチェーンが寸断されている。且つ企業の生産活動が本来の状態に戻らなく通常時よりも少ない供給体制。
  - ② SDGsへの機運の高まりが、化石燃料の供給拡大につながる新規投資を抑制し、化石燃料の供給が増えず化石燃料の価格が高騰。
  - ③ 新型コロナの感染拡大が収まっている国や地域で経済が回復し、潜在的な繰り越し需要に合わせ小売り業者や生産者が通常よりも多めに商品を発注。
- 概ねこのような要素で私どもに不測の一面をを与えているようです。そういつまでもこのような状態が続くわけがないと私は密かに思っていますが、さて。

#### ◆ 「社会貢献」

折々、社内発信するのですが、今後も『できるときにできること』を実践して社会貢献していきたいと思っています。スポーツを通じた青少年育成、災害時支援、ひとり親家庭支援、フードバンク支援などです。この他にも必要とも思われることを、社員皆さんの協力のもと進めていきたいと考えています。

#### ◆ 「ア・ラ・カ・ル・ト」

- ① 昨年12月も押し迫ったある日。銀座にある数寄屋橋交番近くに億単位の宝くじを求める行列が、なが〜く続いている。その売り場に続く細い歩道の看板にふと気づく。『億の細道』と書いてある。
- ② 慌ててトイレに駆け込むときがある。ドアを開ける前にファスナーを開けている自分に気付く。
- ③ 会社の検温器に顔を近づけるも検知せず。更に顔を近づけるとお肌の荒れに愕然とする。
- ④ チョット酔っぱらっていたのでマスクをし忘れたようです。慌てて袋からマスクを一枚取り出し付けます。家に帰り家人から云われました。なんでマスクを2枚してるの？
- ⑤ ゴルゴ13は若き頃より読んでいます。大好きないくつかの劇画の中の大きな一つでした。原作者さいとう・たかを氏逝去。悪と善の境目から醸し出される『情』で人間愛を学びました。鬼平犯科帳の長谷川平蔵役・市川吉右衛門逝く。寂しい限りです。合掌。

久しぶりに社内報に寄稿しました。些かというよりかなりペンの進みが鈍化しました。  
一日に単行本を一冊読んでいた頃とは格段の衰えであります。  
読むことと書くことは同時に必要なことだと改めて実感しています。  
では、この辺で。ご安全に！！

代表取締役社長 赤堀 肇紀

## Reception Flower

受付に華やかさを添える生け花。

今回は、2021年10月～11月に生けた花の中から、選りすぐりの1点を選んでいただきました。



- ❖ サngo水木
- ❖ ピンポン菊
- ❖ アイリス

## いまさら聞けない... ビジネス用語

# 『さわり』

ビジネス上だけでなく日常会話でも使う『さわり』という言葉ですが、もしかして間違った意味で使っていませんか？  
例えば、「話のさわりだけ聞かせてください」という文章で考えてみましょう。

ここでの『さわりだけ』とは、『一番重要な箇所だけ』という意味が正解です。  
ですが、おそらく大多数の人は『話の最初の部分だけ』という意味で捉えているのではないのでしょうか？

浄瑠璃用語として「一番の間かせどころ」という意味で使われていたものが、「見どころ」→「要点」というように意味が転じて今に至るようです。

さわり＝触りというイメージから、「軽く触れる」というニュアンスで解釈してしまい、「話の最初だけ」という風に誤解してしまうのでしよう。

今後の会話で使う時は注意してみてください。